

半切四分の一に書くⅡ (21)

締切り 九月二十四日 (必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕夢破五夜鐘ゆめはやぶるごよのかね(良寛の詩句)

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

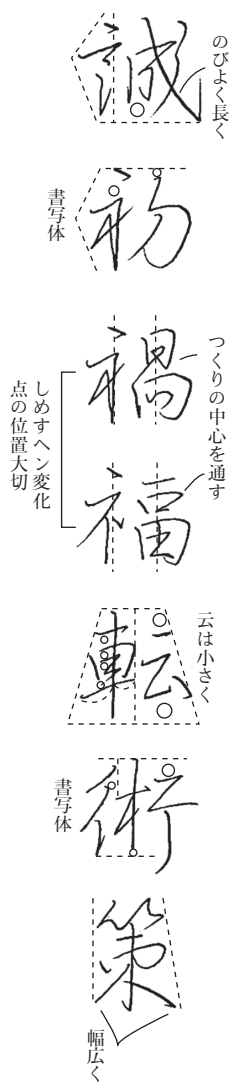
締切り 9月24日(必着)

準初段から六段まで

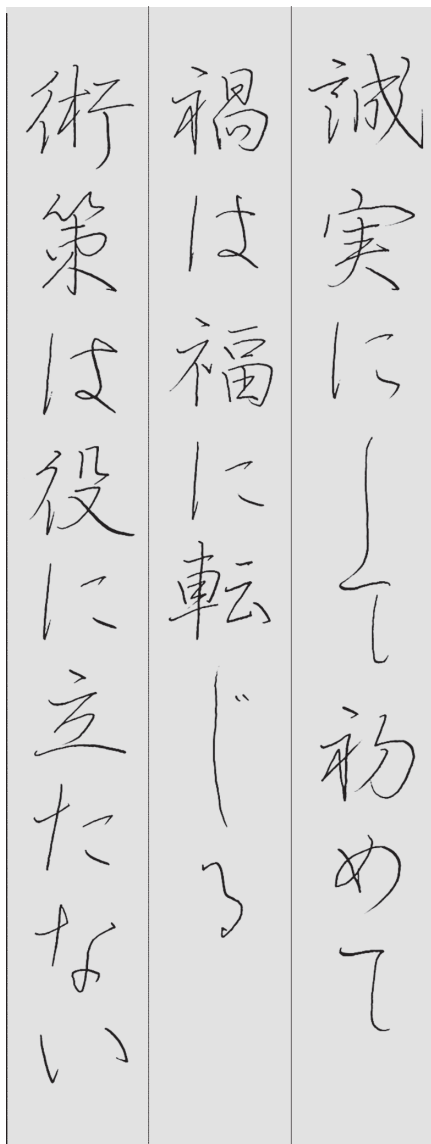
新入から1級まで

〔解説〕

〔解説〕



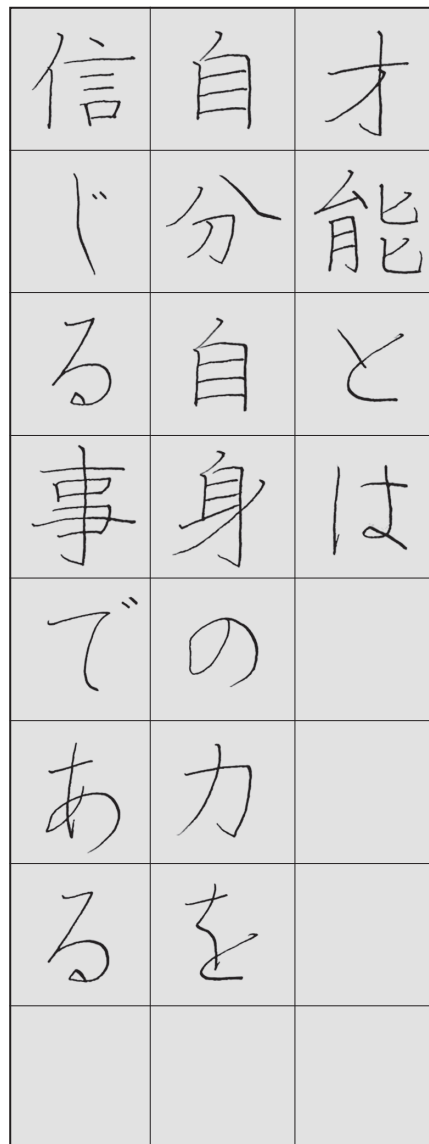
▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。



おく むら のぶ ゆき 書
奥 村 暢 之

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

◆教範・書範＝行草または草書
▼師範＝行書

◆10月課題予告（楷書）
知識への投資は
常に最高の利息が
ついてきます

★誠実に：（書体＝行書）
二宮尊徳（一七八七～一八五六）
江戸時代の農政家
誠実とは私利私欲がないこと、道徳
心、優しさ、勤勉勤勞の姿勢があるこ
となどが挙げられます。
まず、誠実な姿勢があればこそ様々
な方策が生かされ、幸福へと向かって
いくのです。

◆10月課題予告（行書）
人間は
努力をする限り
悩み迷うものだ

★才能とは：（書体＝楷書）
ゴッリキー（一八六八～一九三六）
ロシアの小説家・劇作家
事を起こす前に自分に才能があるか
どうかなどと考えていては、何も始ま
りません。
よく耳にするのは、いくら練習して
も上達しないという嘆きの言葉ですが、
自分を信じて諦めずに努力し続ければ、
才能は開花するでしょう。

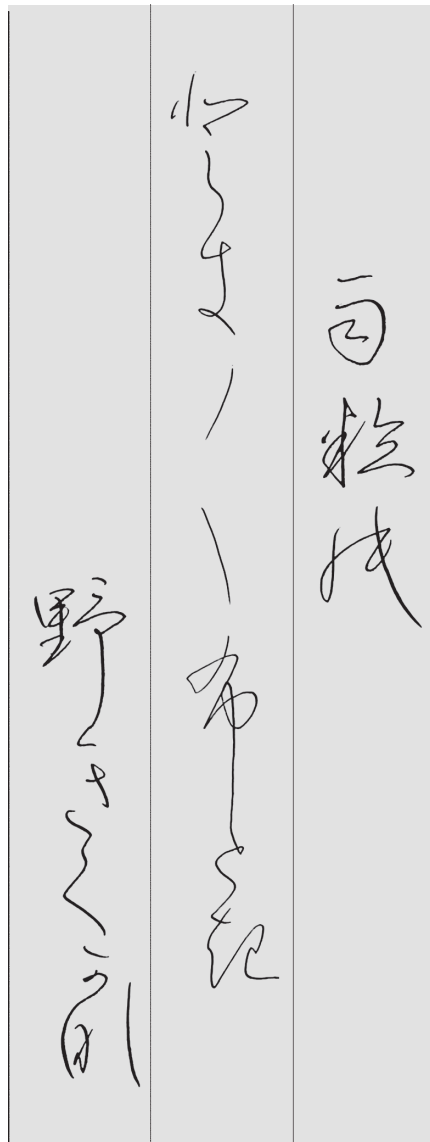
一般部かな課題

締切り 9月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

雨粒のときどき太き野菊かな

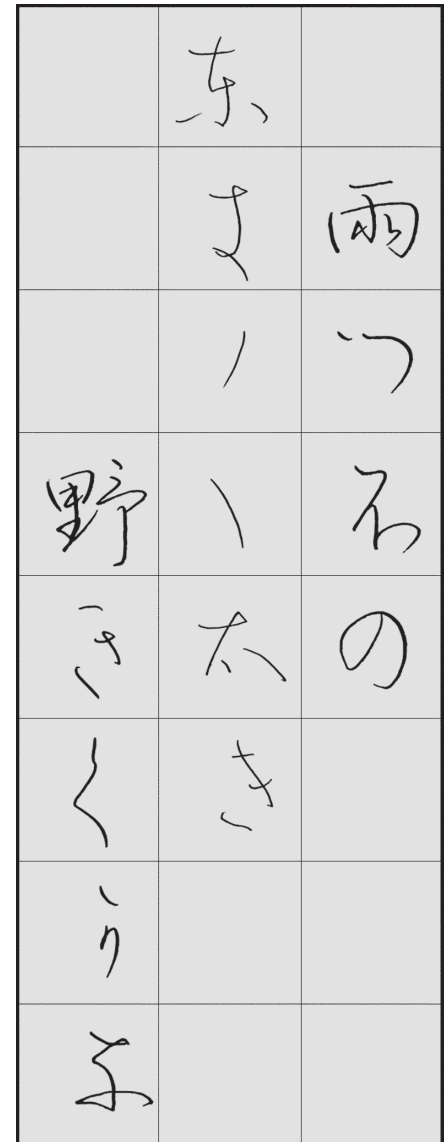


た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

雨粒のときどき太き野菊かな



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

雨粒のときどき太き野菊かな

(中村汀女)

〔句解〕変わりやすい秋の天気は、いつの間にか細い雨を降らせ始めている。雑草に交じる野菊にも雨脚はかかっているが、じっと見ていると、その雨はときどき太い雨粒となって野菊を濡らしているのだった。

〔鑑賞〕山本健吉が「女流の句は、単純な叙景に、巧まざるうまさを發揮することがある。だが、単純さの中にも非凡な着眼は、おのずから示されている」とし、「雨粒の太さということに興味を見出したのがこの句の生命である」(『現代俳句』)と述べている。

〔古筆参考〕

能の 能の 能の 能の 能の
東と 東と 東と 東と 東と
登と 登と 登と 登と 登と
布ふ 布ふ 布ふ 布ふ 布ふ
奈な 奈な 奈な 奈な 奈な

〔解説〕「粒」の字の偏「斗」の縦

線は、旁の「斗」の最後の横線より長く書く。「化」「種」等も同じ。反対に「野」「到」などは偏の横線は、旁の縦線より短く書く。

◆10月課題予告

野分雲夕焼しつゝ走り居り

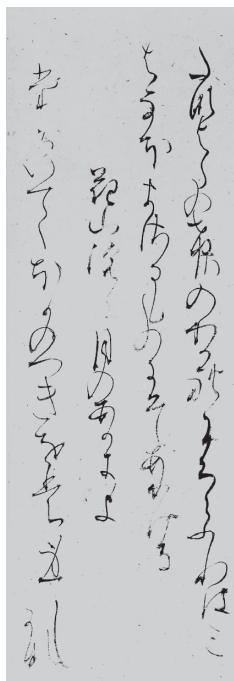
(高浜年尾)

締切り 九月二十四日（必着）

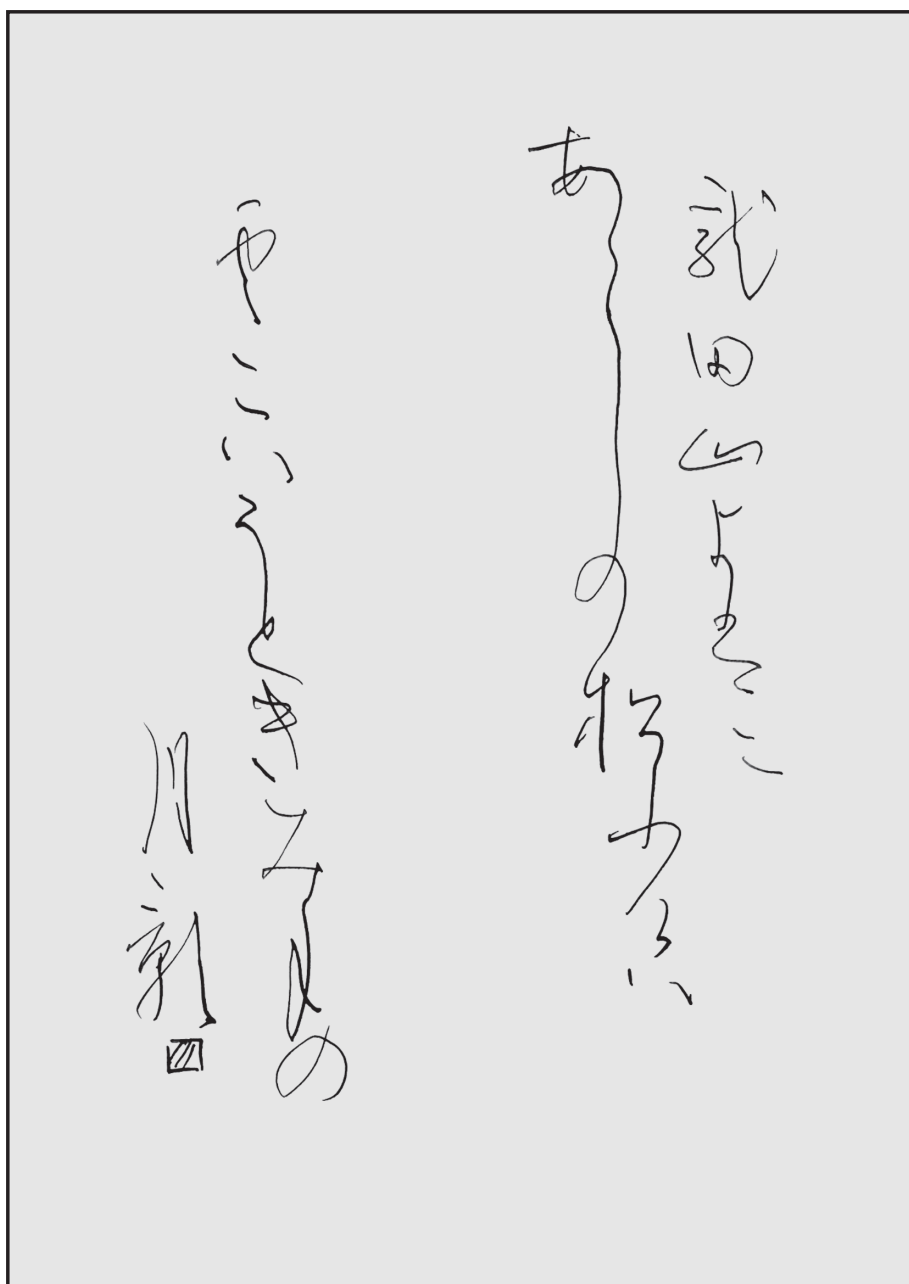
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

こう し ぎれ
香紙切



多^多那^那者^者多^多
 たなばたのけさのわかれにくらぶればみ^三
 者^者余^余本^本佐^佐
 はなほまさるものにあけりける^利
 花山院に月のおあきに^爾
 堂^堂
 たちいでゝほかのつきをもみてし^可
 可^可那^那
 がな



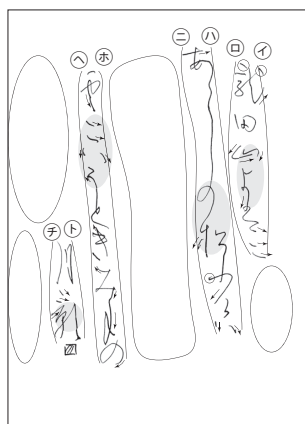
龍田山二八よは二八に二八あら二八しの松ふ二八け二八ば二八
雲にはうときみねの月影

〔歌意〕夜半、龍田山を越えてゆくと、^{はげ}烈しい風が松を吹くので、雲は払われ、峰にはもはや雲とかかわりのない月の光が明るく射しているよ。

〔出典〕新古今和歌集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



- ①と㊦、①と㉑、①と㉒、①と㉓
- ㊦と㉑、㊦と㉒、㊦と㉓、㉑と㉒、㉑と㉓、㉒と㉓
- ○余白大切。
- ③点の位置大切。
- ●密の動き↓面構成大切。
- ↙線の方向大切。

◆10月課題予告

いつの間に空のけしきかわの変るらむ
はげしきけさのこがらしの風

締切り 9月24日(必着)

ひと雨ごとに秋の爽やかさが感じられる季節になって参りましたが、如何お過ごしでしょうか。今年はペン字展が中止となり残念ですが、恵那市美術展は開催されますので、この機会に出品してみませんか。

ひと雨ごとに秋の爽やかさが感じられる季節になって参りましたが、如何お過ごしでしょうか。今年はペン字展が中止となり残念ですが、恵那市美術展は開催されますので、この機会に出品してみませんか。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

絶世の美女クレオパトラもローマ人からは、ナイルの魔女と呼ばれた。
長野県飯田市 氏 名

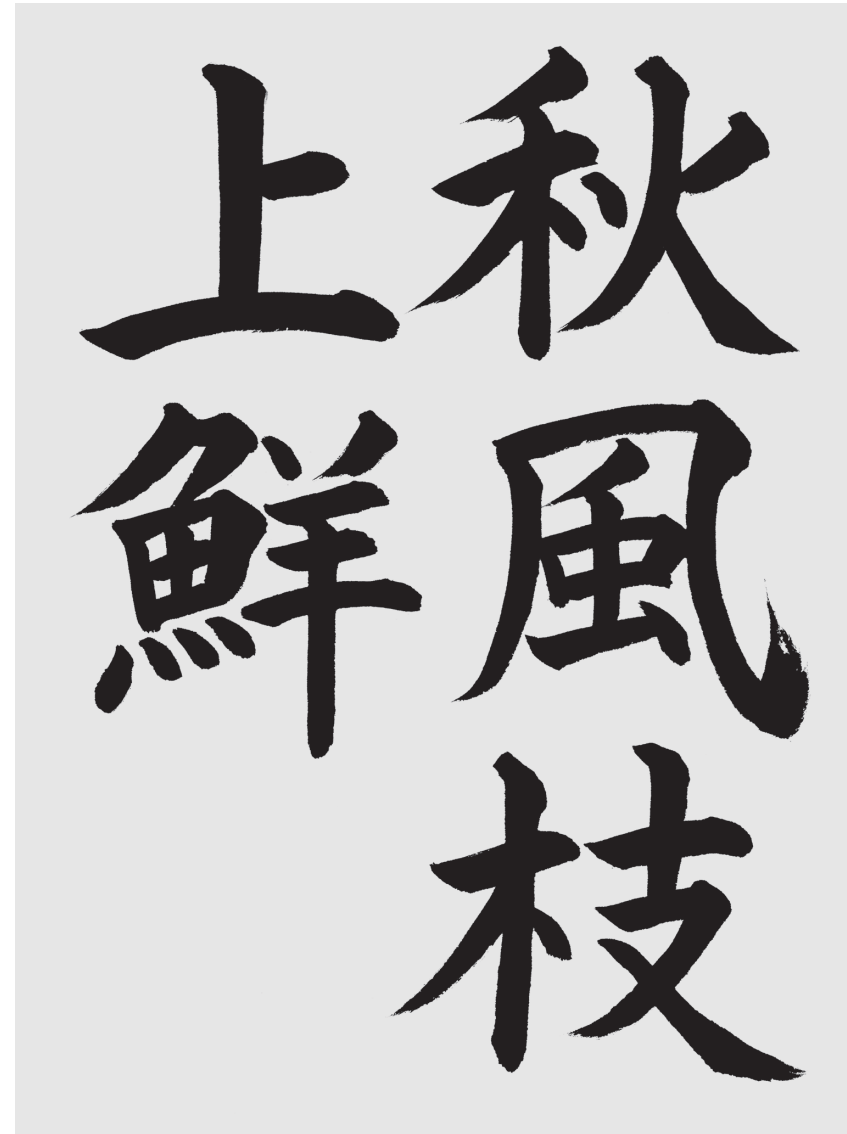
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 9月24日(必着)

新入から1級まで
(楷書)

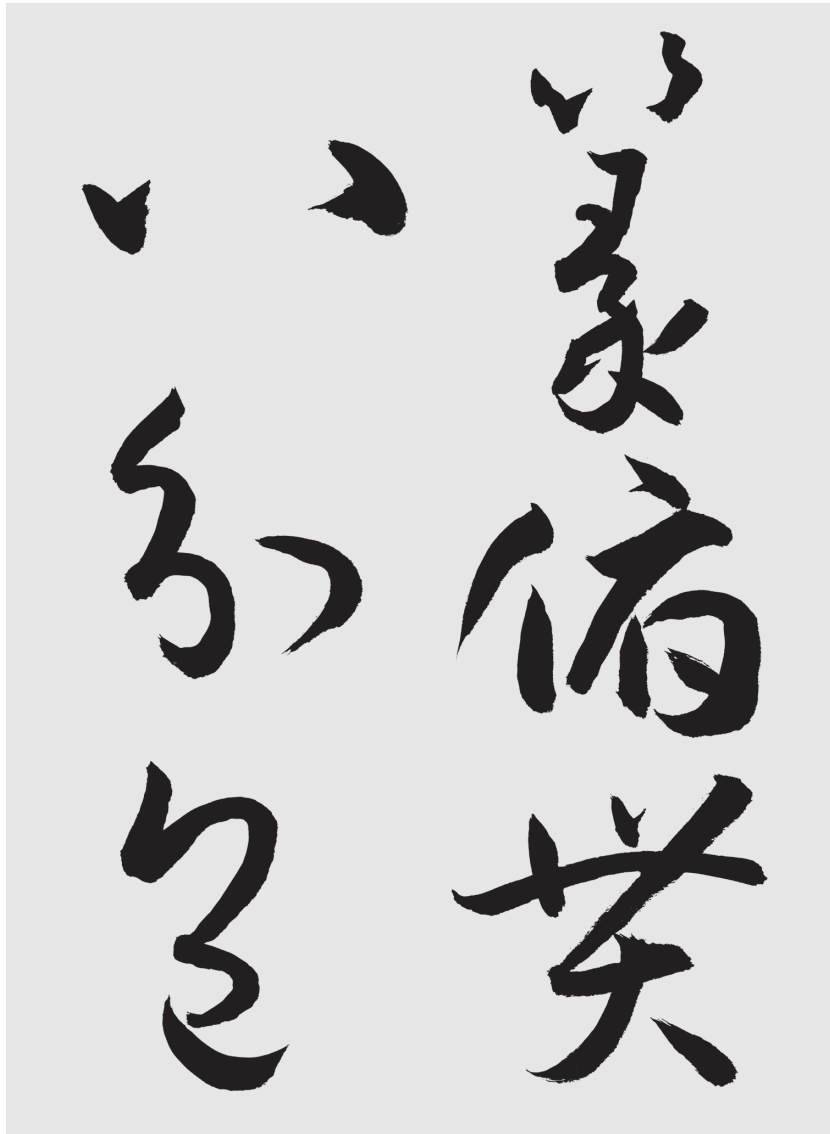
須田 一葉書



〔読み〕 秋風枝^{しじょう}上に鮮やかなり
〔大意〕 秋風は枝の上に鮮やかに吹き抜けていく。

準初段から師範まで

奥村 暢之臨



〔出典〕 書譜 (687) 〔筆者〕 孫過庭 (648?~703?)
〔読み〕 篆に (傍通し、) 八分を俯貫し、(篇章を) 包 (括し、)



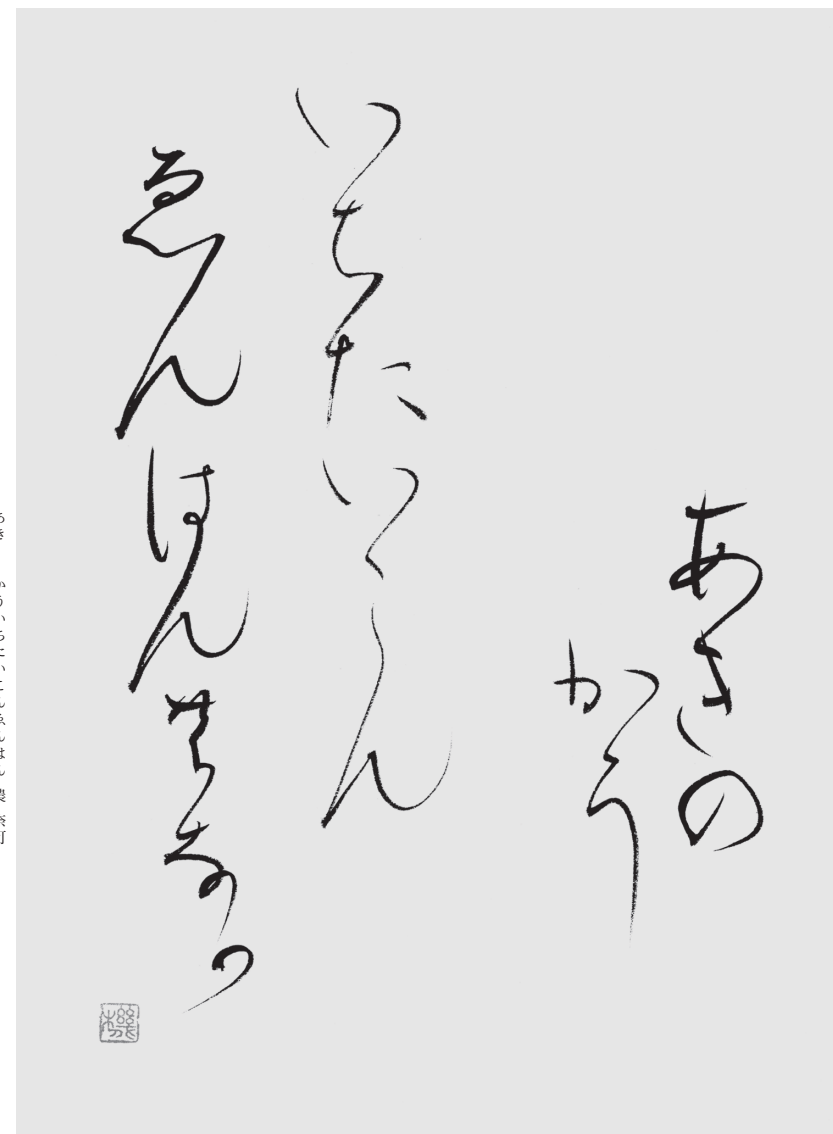
篆
俯
貫
八
分
包

一般部毛筆かな課題

締切り 9月24日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書



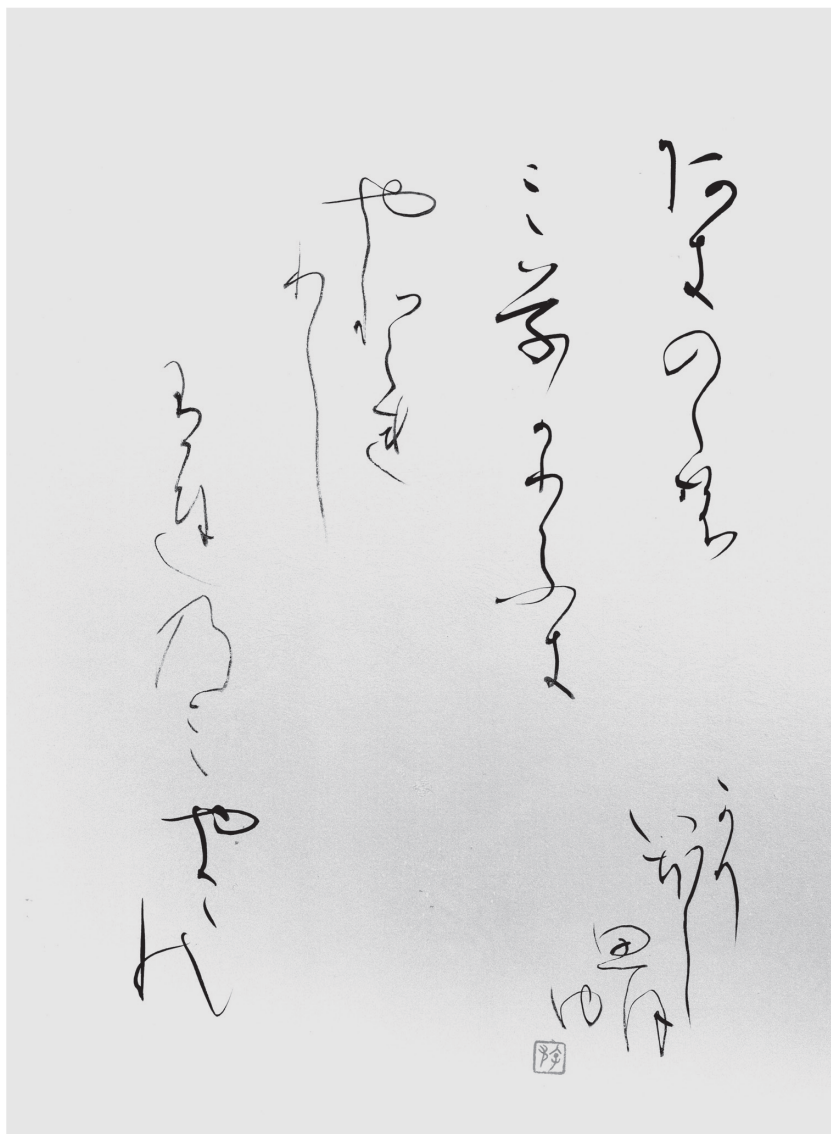
〔出典〕中村草田男

〔句意〕紺碧の海原は、何ら視界をさえぎるものなく、一つの大きな円盤のごとく見えた、という意。雄大な海原に包まれた人間の安定した感じの明るい句。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

秋の航一大紺円盤の中



〔出典〕額田王

〔歌意〕秋の野の草を刈って屋根に葺いたあの宇治のみやこの仮小屋が思われる。

阿支 秋の野の草刈りふきやどれりし
有 宇治のみやこの仮蘆し思ほゆ
三 乃三 能可りい本 登連利 保

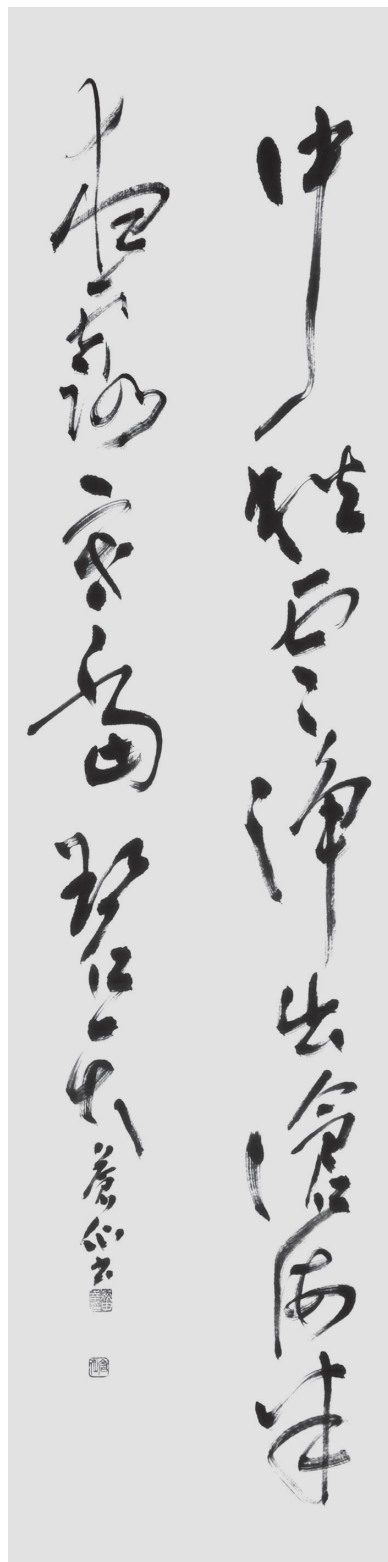
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 九月二十四日（必着）

半切（一二六cm×三五cm）

荻田蒼仙書



中秋雲浄出滄海
半夜露寒當碧天

〔大意〕中秋の月は大海から上つて空は晴れて雲なく、夜半には冷気を帯びた露がみちて一層晴れて見える。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕

潤・渴の技術には筆圧の加・減を知ること。強い線を軽い筆圧で書けるように。筆圧を加え過ぎると線が鈍重になり渴筆は荒れた線に。恩師劉先生曰く、「書いている処を見るのが一番」。講習会の大切な所以。

会員の皆様、コロナを征服して下さい。そして大書心会の前進のために知恵を下さい。

祝御栄転 祝還暦 御新築祝
祝御昇進 祝古稀 御開店祝

（ご自分の氏名）

▼今回は、のし紙・のし袋の表書きの練習をします。

右の語句を、楷書と行書で書いて下さい。

▼書体は楷書で書くのが正式ですが、一般的には少しくずした行書で書いても失礼にはなりません。むしろ親しみがあっていいでしょう。

▼近年は現実的には筆ペンで書く人が多いようです。今回は特別に筆ペンの使用を認めます。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。

■書体変換、変体仮名の交換は自由です。

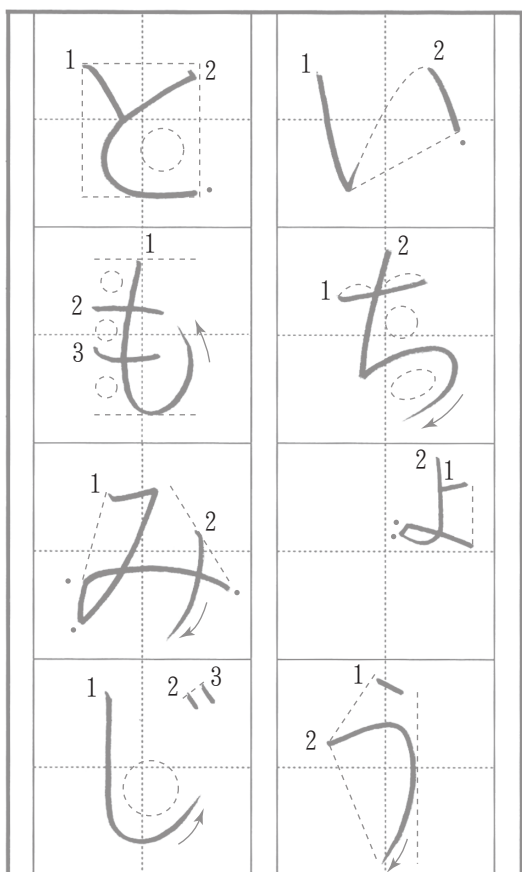
祝御栄転 祝還暦 御新築祝
祝御昇進 祝古稀 御開店祝
祝御昇進 祝古稀 御開店祝
藤本賢治

半紙（334mm×240mm）

書 香 梅 藤 伊

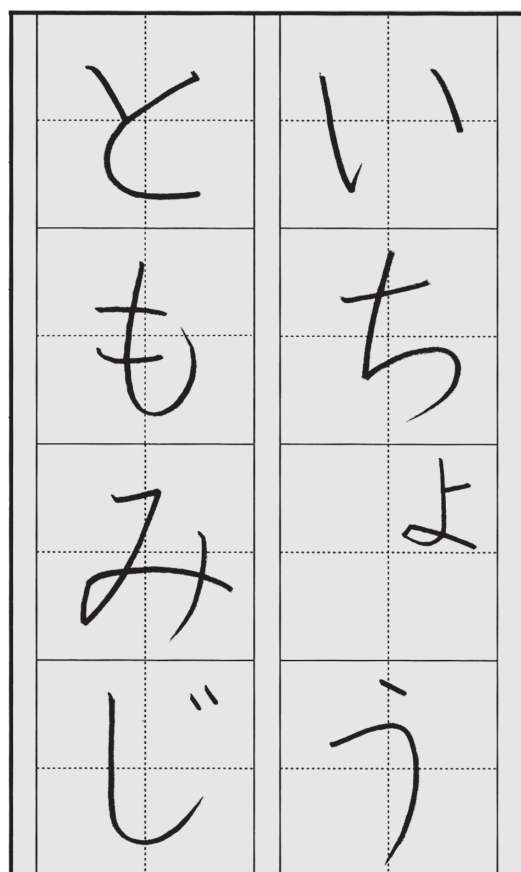
※今月は筆ペン使用可

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



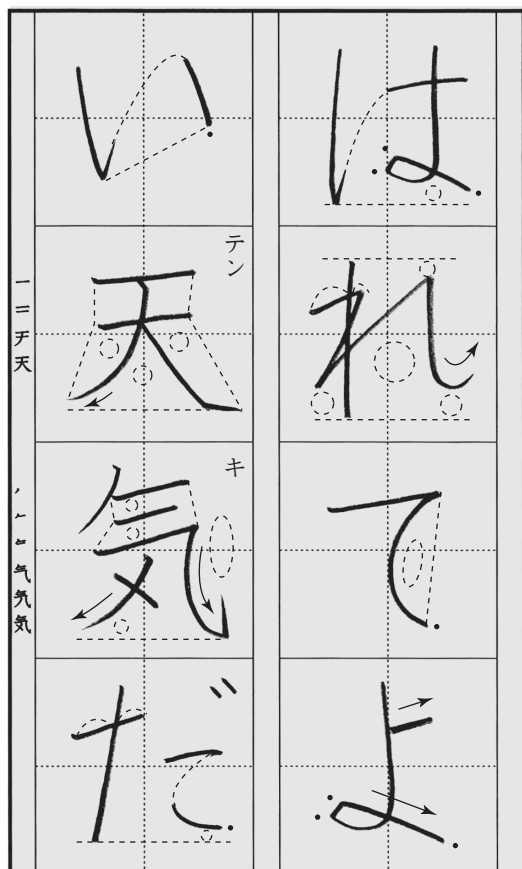
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年～小三年まで 三宅容玉書



新入～1級

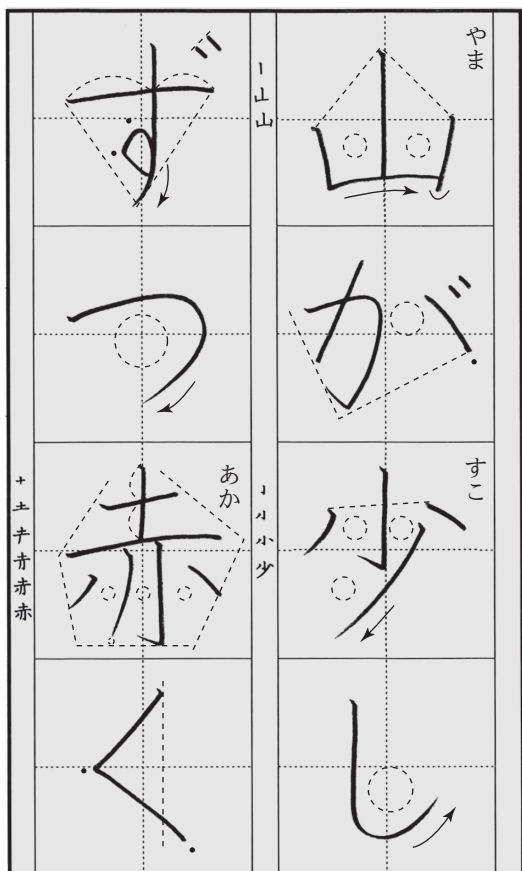
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

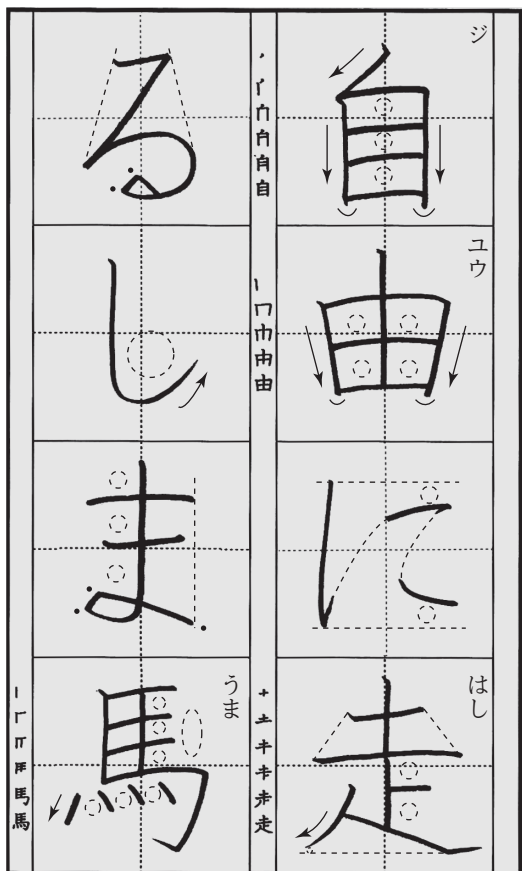


新入1級



小二年

準初段以上



新入1級



小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

願	流
い	れ
事	星
を	に

新入〜1級

を	回	流
唱	お	れ
え	願	星
ま	い	に
す	事	三

小四年

準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

定	新
席	幹
番	線
号	指

解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

確	定	新
に	席	幹
ん	番	線
す	号	の
る	を	指

小五年

(全員)

〈用具〉自由(黒色に限る)

長	次
戦	試
可	合
能	延

解説(よく見て習いましょう)

能	延	次
性	長	の
が	戦	試
あ	の	合
る	可	は

小六年

(全員)

さ	で	山
れ	偶	岳
た	然	の
植	発	奥
物	見	地

中二・三年

(行書)

の	手	陶
目	紙	器
に	を	の
贈	敬	皿
る	老	と

中一年

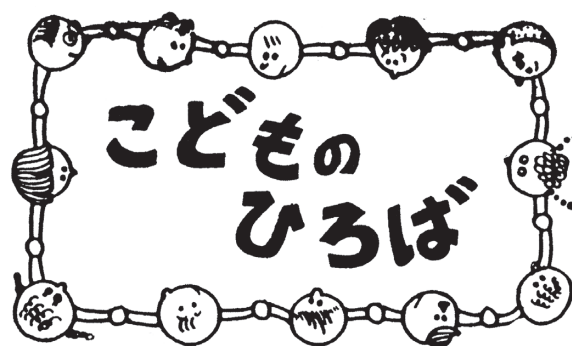
(行書)

▼小三年以下の課題 おお さわ ほう せん 書

聞 ^き	か	お	遠 ^{とお}	夕 ^{ゆう}
こ	ね	寺 ^{てら}	く	方 ^{がた}
え	の	か	に	に
て	音 ^{おと}	ら	見 ^み	な
来 ^く	が		え	る
る			る	と



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 9月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 き しま せい げつ 書

秋 ^{あき}	一 ^{いち}	コ	堤 ^{てい}	学 ^{がっ}
の	面 ^{めん}	ス	防 ^{ぼう}	校 ^{こう}
気 ^け	に	モ	沿 ^ぞ	帰 ^{かえ}
配 ^{はい}	咲 ^さ	ス	い	り
が	き	の	は	の
す		花 ^{はな}		
る		が		

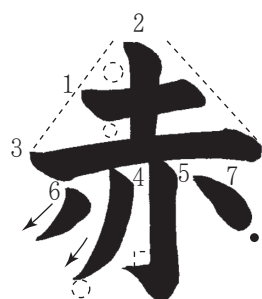
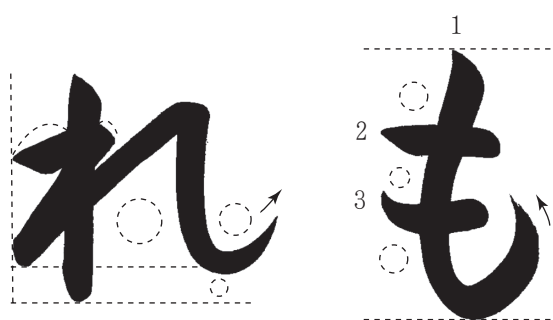


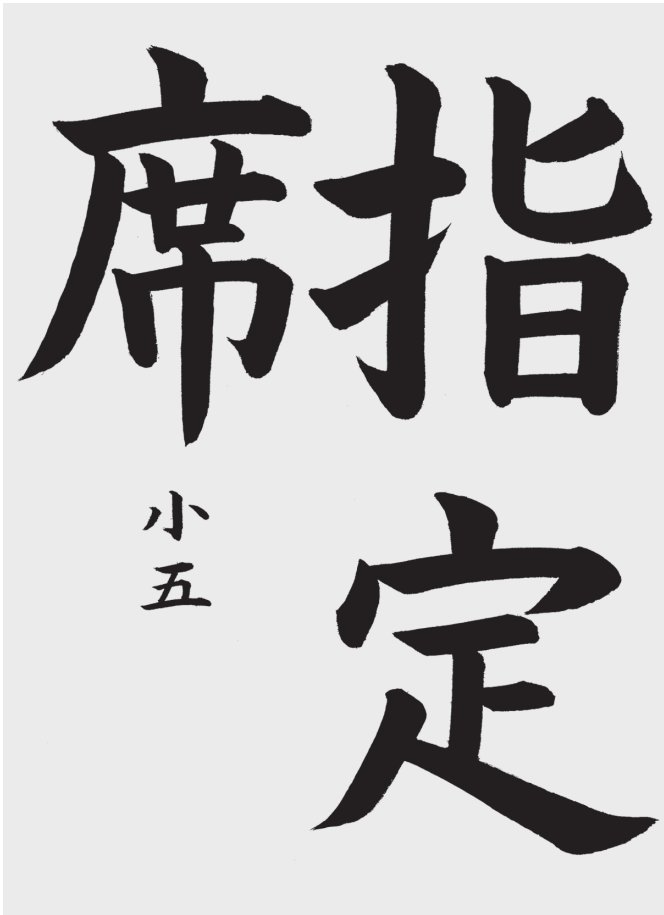
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

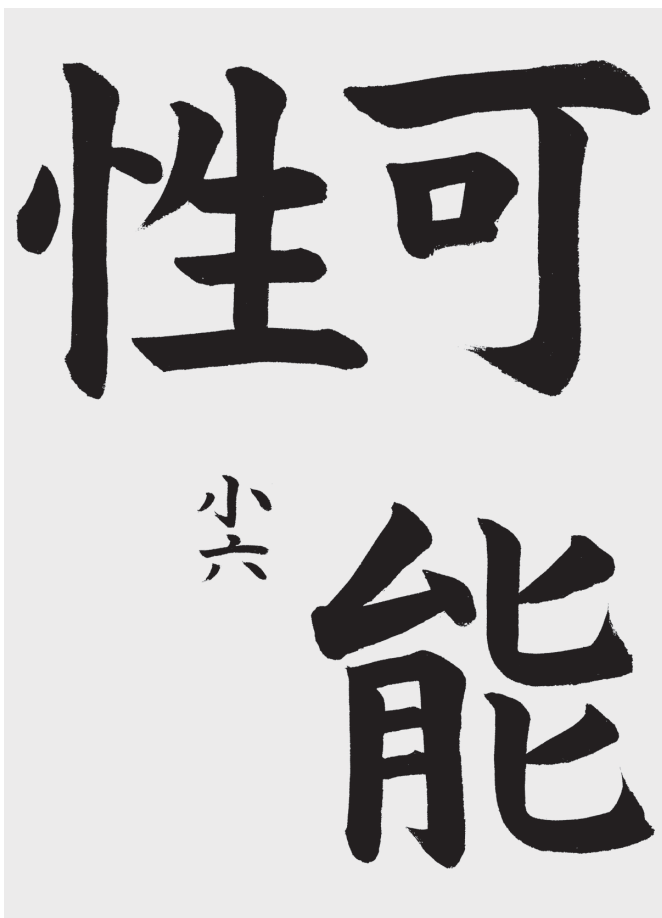
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。







小三、小五年
水野碧友書



小六／中二・三年
玉樹小華書

※行書はリズムよく筆を運ぶことが大切です。



短期特別課題優秀作品

出品数 硬筆Ⅱ九点 毛筆Ⅱ七十八点

光瀬 典子

徳不孤有隣

光瀬 典子

上條 翠波

徳不孤有隣

上條 翠波

橋詰美智子

徳不孤有隣

橋詰美智子

中村 游光

徳不孤有隣

中村 游光

柴山 杉堂

徳不孤有隣

柴山 杉堂

藤木 美樹

徳不孤有隣

藤木 美樹

認定証交付について

■昇段・昇級の証明や記念に、段級位認定証を随時交付しております。ご希望の方は、段級位、姓名を明記の上、左記認定料、送料を添えて本部事務局までお申込み下さい。

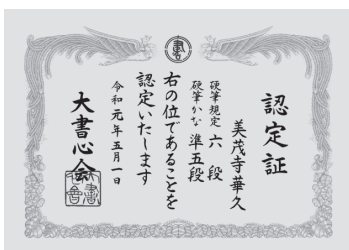
認定料（新価格）

- ◆一般部（硬筆部・毛筆部別、一枚につき）
 - ・書 範……………一〇、五〇〇円（千六〇〇円）
 - ・段 位……………二、一〇〇円（千三〇〇円）
 - ・級 位……………一、〇五〇円（千三〇〇円）
- ※書範は額入り、他は筒入り。
- ※認定料は、上位の成績を基準とします。

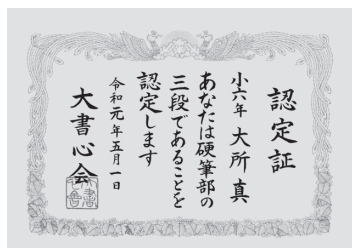
- ◆教育部（硬筆部・毛筆部別、一枚につき）
 - ・準会友……………一、〇五〇円（千九一円）
 - ・段 位……………五三〇円（千九一円）
 - ・級 位……………三二〇円（千九一円）
- ※支部に所属の方は、支部長先生を通じてお申込み下さい。

- 会友認定料……………二、一〇〇円
- 師範・教範免許料……………三七、〇〇〇円

（いずれも合格時納入）



〔例〕一般部硬筆（新形式）



〔例〕教育部硬筆

第六十三回 恵那市美術展

硬筆の部 作品募集!!

主催 恵那市・（公財）恵那市文化振興会
会期 令和二年十月二十九日（木）
十一月三日（火）

午前九時～午後五時まで
（最終日午後四時まで）

会場 恵那文化センター
規格 色紙以上・一〇〇cm×七五cm以内
（縦横自由）

出品料 一部門一点 五〇〇円（高校生三〇〇円）
搬入 十月十日（土）午後一時～午後五時まで
賞 芳翠大賞（三万円・記念品）
市展賞（三万円）・市長賞（二万円）
教育長賞（一万円）・奨励賞（七千円）
努力賞（五千円）・入選

※恵那市美術展には、硬筆部門が独立して設けられています。ペン字界発展のため、たくさんのご応募をお待ちしています。

※詳しい募集要項（出品申込書）は、大書心会本部までご請求下さい。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によってはやむなく中止となる場合があります。予めご了承下さい。

市美術展の搬入・搬出を代行します!!

◎右記市美術展の作品搬入・搬出を四静堂さんが代行します。一点に付五〇〇円ですが、表装を依頼される場合は無料です。

◎ご希望の方は、①作品（額装済）②出品申込票③出品料＋代手手数料Ⅱ一、〇〇〇円を、各搬入一週間前までに、本部へお送り下さい。

※出品申込票は本部までご請求下さい。
※作品は未発表のものに限られます。